第13章　伝票会計

13－1　５伝票制

【重要性：Ａ】

ＰＯＩＮＴ！

①　３伝票制と５伝票制の違いを理解しよう！

②　５つの伝票への記入方法をマスターしよう！

主な勘定科目

「現金」勘定（資産）

「売上」勘定（収益）

「仕入」勘定（費用）

（1）3伝票制

3級で学習した内容を復習します。<u>伝票（でんぴょう）</u>とは、仕訳帳の代わりに<u>取引を記入する紙片（しへん）</u>です。なお、伝票に記入することを、**起票（きひょう）**といいます。

<u>3伝票制（さんでんぴょうせい）</u>とは、<u>**入金伝票（にゅうきんでんぴょう）**、**出金伝票（しゅつきんでんぴょう）**、**振替伝票（ふりかえでんぴょう）**の3種類の伝票を用いる方法</u>です。

① 入金伝票

<u>入金伝票には、現金の増加取引である**入金取引**を起票</u>します。仕訳で考えますと、借方が「現金」勘定となる取引です。したがって、借方は必ず「現金」勘定となるので、入金伝票の科目欄には**貸方の相手勘定科目**しか記入しません。

例題13－1　商品を1,000円で売り上げ、代金は現金で受け取った。

仕訳で示すと、以下になります。

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	**1,000**	**売上**	**1,000**

入金伝票には以下のように起票されます。

入金伝票

平成×年×月×日

科目	金額
売上	**1,000**

② 出金伝票

出金伝票には、現金の減少取引である**出金取引**を起票します。仕訳で考えますと、貸方が「現金」勘定となる取引です。したがって、貸方は必ず「現金」勘定となるので、出金伝票の科目欄には**借方の相手勘定科目**しか記入しません。

例題13－2　**商品2,000円を仕入れ、代金は現金で支払った。**

仕訳で示すと、以下になります。

借方科目	金額	貸方科目	金額
仕入	**2,000**	**現金**	**2,000**

出金伝票には以下のように起票されます。

出金伝票

平成×年×月×日

科目	金額
仕入	**2,000**

③ 振替伝票

振替伝票には、入金取引と出金取引以外の取引を起票します。振替伝票には、仕訳の形式で記入します。

例題13－3　**備品3,000円を購入し、代金は月末に支払うこととした。**

仕訳で示すと、以下になります。

借方科目	金額	貸方科目	金額
備品	**3,000**	**未払金**	**3,000**

振替伝票には以下のように起票されます。

振替伝票

平成×年×月×日

借方科目	金額	貸方科目	金額
備品	**3,000**	**未払金**	**3,000**

（２）５伝票制

５伝票制（ごでんぴょうせい）とは、入金伝票（にゅうきんでんぴょう）、出金伝票（しゅつきんでんぴょう）、**売上伝票**（うりあげでんぴょう）、**仕入伝票**（しいれでんぴょう）、振替伝票（ふりかえでんぴょう）の５種類の伝票を用いる方法です。

① 入金伝票

入金伝票には、現金の増加取引である**入金取引**を起票します。これは３伝票制の場合と同じです。

② 出金伝票

出金伝票には、現金の減少取引である**出金取引**を起票します。これは３伝票制の場合と同じです。

③ 売上伝票

売上伝票には**売上取引**を起票します。仕訳で考えますと、貸方が「売上」勘定（収益）となる取引です。また、売上伝票は掛け取引を前提としているため、売上伝票の科目欄は相手勘定科目である**売掛金**に固定されています。

売 上 伝 票

平成×年×月×日

科 目	金 額
売 掛 金	**×××**

例題13－４　**商品を1,000円で売り上げ、代金は掛けとした。**

仕訳で示すと、以下になります。

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
売 掛 金	**1,000**	**売 上**	**1,000**

売上伝票には以下のように起票されます。

売 上 伝 票

平成×年×月×日

科 目	金 額
売 掛 金	**1,000**

④　仕入伝票

仕入伝票には**仕入取引**を起票します。仕訳で考えますと、借方が「仕入」勘定（費用）となる取引です。また、仕入伝票は掛け取引を前提としているため、仕入伝票の科目欄は**買掛金**に固定されています。

仕　入　伝　票

平成×年×月×日

科　　目	金　　額
買　　掛　　金	×××

例題13－5　**商品2,000円を仕入れ、代金は掛けとした。**

仕訳で示すと、以下になります。

借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
仕　　　　入	**2,000**	**買　　掛　　金**	**2,000**

仕入伝票には以下のように起票されます。

仕　入　伝　票

平成×年×月×日

科　　目	金　　額
買　　掛　　金	**2,000**

⑤　振替伝票

振替伝票には、入金取引、出金取引、**売上取引**、**仕入取引**以外の取引を起票します。振替伝票の記入方法は３伝票制の場合と同じです。

⑥　掛け以外による売上取引と仕入取引

売上伝票と仕入伝票は相手勘定科目が固定されているので、現金、当座預金、手形による売上取引、仕入取引が行われた場合、いったん掛け取引が行われ、その後に現金、当座預金、手形で決済したと考えて起票します。

例題13－6　商品を1,000円で売り上げ、代金は現金で受け取った。

通常の仕訳で示すと、以下になります。

借 方 科 目	金　額	貸 方 科 目	金　額
現　　金	**1,000**	**売　　上**	**1,000**

いったん全額を掛けで売り上げ、すぐに掛け代金を現金で回収したと考えます。

借 方 科 目	金　額	貸 方 科 目	金　額
売　掛　金	**1,000**	**売　　上**	**1,000**
現　　金	**1,000**	**売　掛　金**	**1,000**

したがって、伝票には売上伝票と入金伝票に以下のように起票されます。

売　上　伝　票

平成×年×月×日

科　　目	金　　額
売　掛　金	**1,000**

入　金　伝　票

平成×年×月×日

科　　目	金　　額
売　掛　金	**1,000**

例題13－7　**商品を1,000円で売り上げ、代金は約束手形を受け取った。**

通常の仕訳で示すと、以下になります。

借 方 科 目	金　額	貸 方 科 目	金　額
受　取　手　形	**1,000**	**売　　　上**	**1,000**

いったん全額を掛けで売り上げ、すぐに掛け代金を受取手形で回収したと考えます。

借 方 科 目	金　額	貸 方 科 目	金　額
売　掛　金	**1,000**	**売　　　上**	**1,000**
受　取　手　形	**1,000**	**売　掛　金**	**1,000**

したがって、伝票には売上伝票と振替伝票に以下のように起票されます。

売　上　伝　票

平成×年×月×日

科　　目	金　額
売　掛　金	**1,000**

振　替　伝　票

平成×年×月×日

借 方 科 目	金　額	貸 方 科 目	金　額
受　取　手　形	**1,000**	**売　掛　金**	**1,000**

13－2　仕訳集計表の作成

【重要性：A】

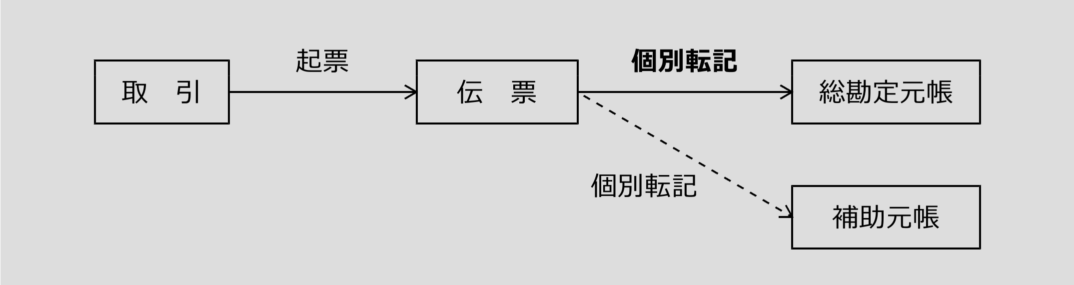
ＰＯＩＮＴ！

仕訳集計表の内容を理解しよう！

伝票に起票された取引を総勘定元帳へ転記するには、以下の方法があります。なお、補助元帳へは**個別転記**されます。

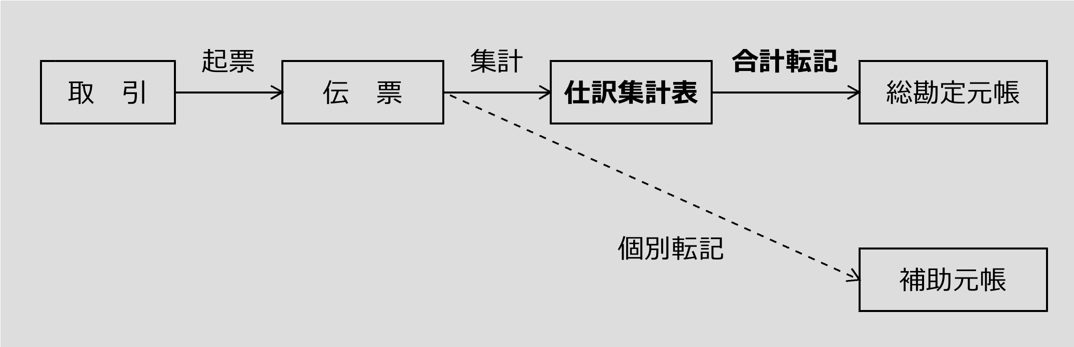
（１）伝票から直接転記する方法

各伝票から総勘定元帳の各勘定へ**個別転記**されます。



（２）仕訳集計表に集計する方法

仕訳集計表（仕訳日計表）とは、合計試算表の一種で、１日分の伝票を集計する表をいいます。仕訳集計表を作成し、仕訳集計表から総勘定元帳の各勘定へ**合計転記**されます。



例題13－8　**4月3日に以下の取引を行った。当社は５伝票制を採用しており、各伝票にもとづいて仕訳集計表を作成している。そこで、仕訳集計表を作成しなさい。なお、元丁欄は省略すること。**

① **商品1,000円を掛で仕入れた。**

② **商品1,200円を現金で仕入れた。**

③ **商品を1,800円で得意先A社へ売り上げ、代金は掛とした。**

④ **商品を2,000円で得意先B社へ売り上げ、代金は現金で受け取った。**

⑤ **買掛金800円を決済し、現金で支払った。**

⑥ **得意先B社に対する売掛金1,700円が決済され、現金で受け取った。**

⑦ **買掛金900円の決済のため、約束手形を振り出した。**

① 起票（仕訳形式で示します）

		借方科目	金額	貸方科目	金額
①	仕入伝票	仕　　入	1,000	買 掛 金	1,000
②	仕入伝票	仕　　入	1,200	買 掛 金	1,200
	出金伝票	買 掛 金	1,200	現　　金	1,200
③	売上伝票	売 掛 金	1,800	売　　上	1,800
④	売上伝票	売 掛 金	2,000	売　　上	2,000
	入金伝票	現　　金	2,000	売 掛 金	2,000
⑤	出金伝票	買 掛 金	800	現　　金	800
⑥	入金伝票	現　　金	1,700	売 掛 金	1,700
⑦	振替伝票	買 掛 金	900	支払手形	900

② 仕訳集計表

仕　訳　集　計　表

4月3日

借　　方	元丁	勘　定　科　目	元丁	貸　　方
3,700	省略	現　　金	省略	2,000
3,800		売　掛　金		3,700
		支　払　手　形		900
2,900		買　掛　金		2,200
		売　　上		3,800
2,200		仕　　入		
12,600				12,600

第13章　伝票会計　問題

問題13-1　4月7日に以下の取引を行った。各伝票に起票される枚数を答えなさい。当社は3伝票制を採用している。

①　商品4,200円を現金で仕入れた。
②　商品3,000円を掛で仕入れた。
③　商品を5,000円で得意先社へ売り上げ、代金は現金で受け取った。
④　商品を7,400円で得意先社へ売り上げ、代金は掛とした。
⑤　売掛金3,700円が決済され、現金で受け取った。
⑥　売掛金2,500円の決済として、約束手形を受け取った。
⑦　買掛金1,800円を決済し、現金で支払った。
⑧　買掛金2,900円の決済のため、約束手形を振り出した。

問題13-2　4月7日に以下の取引を行った。各伝票に起票される枚数を答えなさい。当社は5伝票制を採用している。

①　商品4,200円を現金で仕入れた。
②　商品3,000円を掛で仕入れた。
③　商品を5,000円で得意先社へ売り上げ、代金は現金で受け取った。
④　商品を7,400円で得意先社へ売り上げ、代金は掛とした。
⑤　売掛金3,700円が決済され、現金で受け取った。
⑥　売掛金2,500円の決済として、約束手形を受け取った。
⑦　買掛金1,800円を決済し、現金で支払った。
⑧　買掛金2,900円の決済のため、約束手形を振り出した。

第13章　伝票会計　答案用紙

問題13-1

入金伝票	枚	出金伝票	枚	振替伝票	枚

問題13-2

入金伝票	枚	出金伝票	枚	振替伝票	枚
売上伝票	枚	仕入伝票	枚		

第13章　伝票会計　解答解説

問題13-1　**解答**

入金伝票	２枚	出金伝票	２枚	振替伝票	４枚

問題13-1　**解説**

伝票の起票を仕訳形式で示すと、以下となります。

		借方科目	金額	貸方科目	金額
①	出金伝票	**仕　入**	**4,200**	**現　金**	**4,200**
②	振替伝票	**仕　入**	**3,000**	**買 掛 金**	**3,000**
③	入金伝票	**現　金**	**5,000**	**売　上**	**5,000**
④	振替伝票	**売 掛 金**	**7,400**	**売　上**	**7,400**
⑤	入金伝票	**現　金**	**3,700**	**売 掛 金**	**3,700**
⑥	振替伝票	**受取手形**	**2,500**	**売 掛 金**	**2,500**
⑦	出金伝票	**買 掛 金**	**1,800**	**現　金**	**1,800**
⑧	振替伝票	**買 掛 金**	**2,900**	**支払手形**	**2,900**

したがって、入金伝票２枚、出金伝票２枚、振替伝票４枚となります。

問題13-2 **解答**

入金伝票	２枚	出金伝票	２枚	振替伝票	2枚
売上伝票	２枚	仕入伝票	２枚		

問題13-2 **解説**

伝票の起票を仕訳形式で示すと、以下となります。なお、仕入伝票の相手科目は「買掛金」に、売上伝票の相手科目は「売掛金」に固定されていることに注意して下さい。

		借方科目	金額	貸方科目	金額
①	仕入伝票	**仕　入**	**4,200**	**買 掛 金**	**4,200**
	出金伝票	**買 掛 金**	**4,200**	**現　金**	**4,200**
②	仕入伝票	**仕　入**	**3,000**	**買 掛 金**	**3,000**
③	売上伝票	**売 掛 金**	**5,000**	**売　上**	**5,000**
	入金伝票	**現　金**	**5,000**	**売 掛 金**	**5,000**
④	売上伝票	**売 掛 金**	**7,400**	**売　上**	**7,400**
⑤	入金伝票	**現　金**	**3,700**	**売 掛 金**	**3,700**
⑥	振替伝票	**受取手形**	**2,500**	**売 掛 金**	**2,500**
⑦	出金伝票	**買 掛 金**	**1,800**	**現　金**	**1,800**
⑧	振替伝票	**買 掛 金**	**2,900**	**支払手形**	**2,900**

したがって、入金伝票２枚、出金伝票２枚、振替伝票2枚、売上伝票２枚、仕入伝票２枚となります。